

冷凍母乳の取扱いと調乳について

1 搾乳と保存

搾乳した母乳は専用の冷凍母乳パックで保存し、母親の名前・搾乳日時・量を必ず記入し、 -20°C で冷凍保存したものを1日分、1回に飲む量に分けて保冷シート(市販されている)や専用アイスボックスに入れて持ってきてもらう。

2 解凍

解凍は流水中又は 40°C の湯煎で行い、哺乳瓶に移してから、 40°C の湯煎で人肌まで暖める。電子レンジや熱湯での解凍は、母乳成分(免疫物質など)が変化することがあるで使用しない。成分が分離している時はゆっくり振り混ぜて授乳する。

3 注意点

母乳は細菌が繁殖しやすいので、搾乳・保存・解凍の各過程で、消毒や温度管理など衛生的な配慮が大切である。特に、一度解凍したものは再冷凍しない、哺乳瓶の飲み残しは、廃棄する。

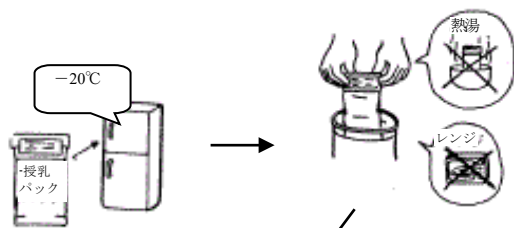
母親が発熱などで体調が悪い時、服薬している時、乳房・乳頭に痛みやしこりがある時は、冷凍母乳の使用について医師に相談するように指導する必要がある。

調乳法

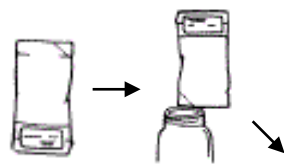
①調乳台をきれいにする ⇒ ②手洗い消毒 ⇒ ③消毒した哺乳瓶、乳首を準備する

冷凍母乳

冷凍庫から出し解凍する
流水or
保温層(40°C):特に冬季



切り口を消毒綿で拭き、パック専用の消毒したハサミで切り、哺乳瓶に移す。

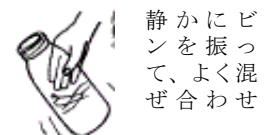


粉ミルク

出来上がりの分量の1/2~1/3の湯(70°C 以上)を入れる



分量の粉ミルクを入れる



静かにビンを振って、よく混ぜ合わせ

出来上がり量までお湯を加える (70°C 以上)



乳首、キャップカバーを鉗子を使ってつけさらにビンを振って溶かす (やけどに気をつける)

適温になるまで冷やす
名札をつける



授乳